

岩槻区柏崎・美幸町地区AIデマンド交通の 実証実験の継続について

健康増進のための乗り合い送迎サービス



1. 導入経緯等について

導入背景・経緯

- 交通空白地区等である柏崎・美幸町の両地区から乗合タクシー導入の要望
- コミュニティバス等導入ガイドラインに則り導入を検討
⇒ 需要調査の結果、収支率の見込みが実証運行実施基準に及ばず（令和元年度）
- 埼玉トヨペット（株）が、「トヨタモビリティ基金」を活用した助成事業として、乗合交通導入を提案（令和元年度）
⇒ 助成事業の目的（地域の移動支援を始めとする地域貢献）と、市が抱える課題（交通空白地区等の解消）が一致
⇒ 埼玉トヨペット（株）と市が連携し、「AIを活用したデマンド型乗合交通」の実証実験を実施（令和3年4月～令和4年5月）
- 市による運行事業者の公募実施（令和4年3月）
- さいたま市コミュニティバス等運行経費補助金交付要綱の改正（令和4年4月）
- 市による補助金を活用し実証実験を継続
実験期間（道路運送法21条許可期間）は3年間（令和4年6月～令和7年5月）



運行車両

導入・利用促進等の実施状況

- 「コミュニティバス等導入ガイドライン」に準じて、鉄道や路線バスの補完交通として導入
- 運行エリア・時間帯・行先（停留所設置場所）は、地元要望を基に関係者協議を踏まえ決定
⇒ 地域組織がニーズ把握調査を実施
停留所設置は地元や埼玉トヨペット（株）が地先交渉
- 愛称「チョイソコさいたま いわつき号」は、地元要望を踏まえ決定
- 利用促進は、地元（地域組織）と埼玉トヨペット（株）が、チラシ配布や乗車会等を主体的に実施
⇒ 埼玉トヨペット（株）と市が地元（地域組織）の活動を支援



地域組織・埼玉トヨペットとの打合せ状況

実証実験の目的

- 需要が少ない地域における交通空白地区等の解消スキームの検証
- コミュニティバス、乗合タクシーに対するAIデマンド交通の優位性の確認

2. 運行概要等について

運行概要

対象地区	岩槻区柏崎地区・美幸町地区
運行日時	月・火・木・金曜日 8:30~17:00 ※祝日、年末年始は運休
車両数	1台
目的地停留所	38箇所 ※地区により行先は異なる、重複を含む
システム	チョイソコ
予約方法	電話、WEB予約
運賃	300円 ※路線バス結節点停留所での乗降は100円
運行事業者	株式会社岩槻タクシー

運行エリア



目的地停留所



3. 令和5年度の利用状況について

令和6年度第1回さいたま市地域公共交通協議会（令和6年8月20日）資料抜粋

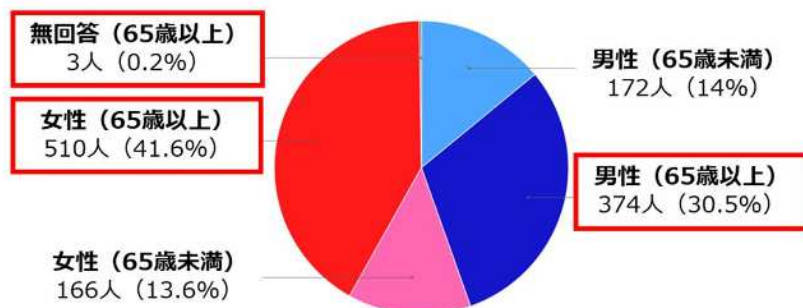
○登録者数

- ・1,225人（うち利用経験者数335人 | 27.3%）

[R4年度実績：1,171人（うち利用経験者数293人 | 25.0%）]

○利用者の属性

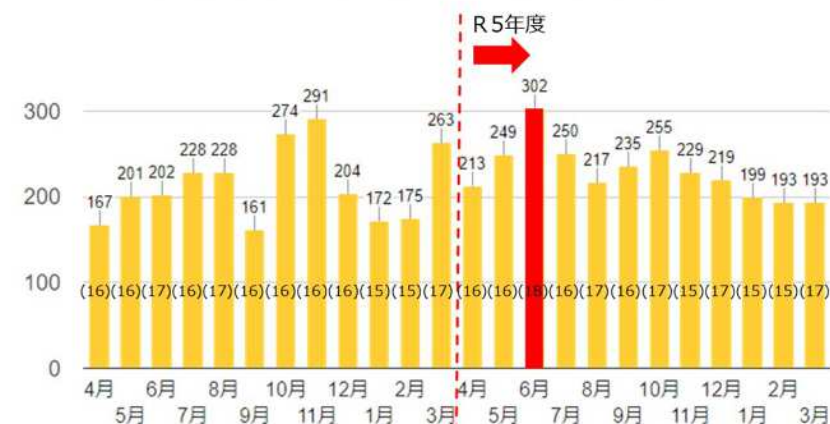
- ・高齢者（65歳以上）の割合 72.3% [R4年度実績：87.9%]



○予約件数（利用者数）

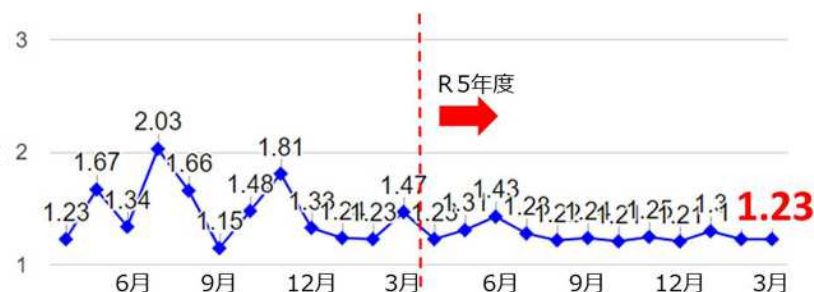
- ・計2,754人/年 [平均予約件数14.1人/日]

[R4年度実績：計2,566人/年 [平均予約件数13.3人/日]]



○乗合率

- ・1.23人/便
(R6.3時点)



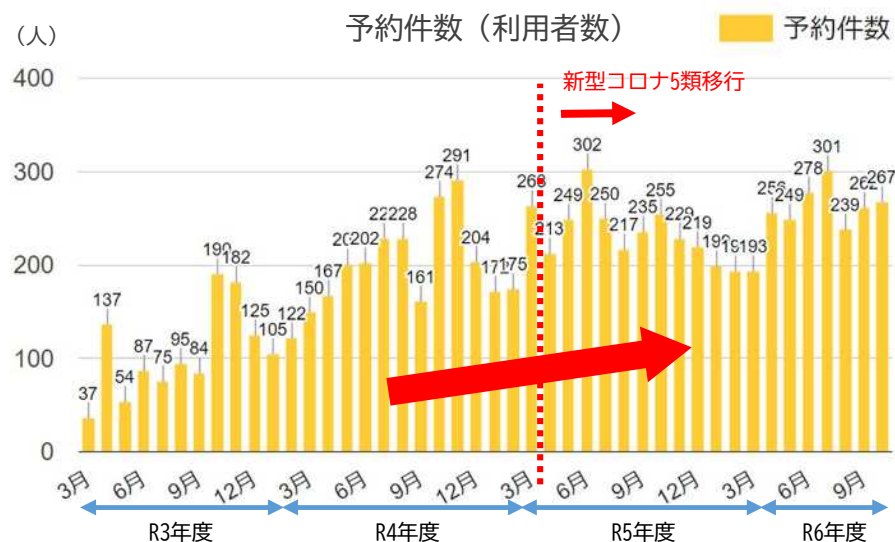
○定時性の確認

- ・予約希望時間との差異：±0分(58.5%)

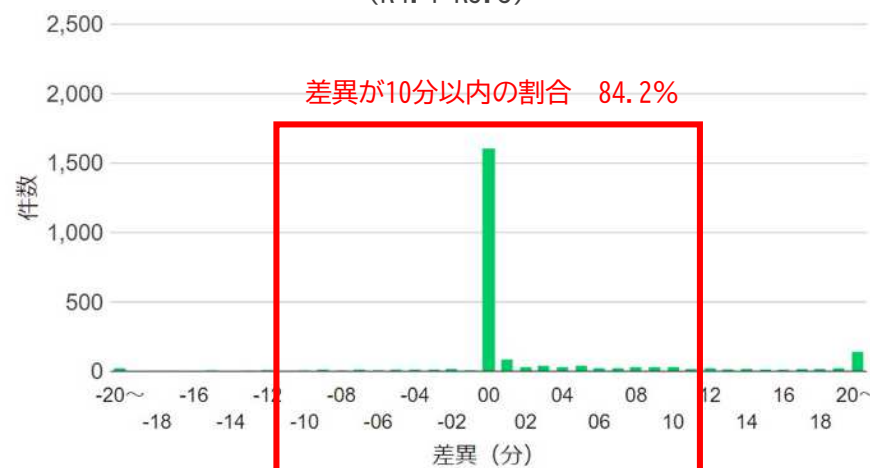
[R4年度実績：71.1%]

- ・キャンセル率 16.9% [R4年度実績：16.8%]

4. 実証実験の継続について



「予約時の希望出発時刻」と「予約確定時の出発時刻」との差異 (R4.4-R5.3)



実証実験の状況

- 令和5年5月の新型コロナが5類移行後も利用が伸びており、増加傾向にある。
- 希望出発時刻との差異がほとんどなく、希望通り予約できており、利用上限に余裕があると考えられる。

以上のことから、当該地区におけるAIデマンド交通のポテンシャルを確認できていない。

本市の再構築ガイドラインの検討状況

現在、全国各地で実証実験などが行われているAIデマンド交通について、再構築ガイドラインへの位置付けを検討している。



議決事項

AIデマンド交通の再構築ガイドラインへの位置付けを検討するために、実証実験を継続する。

今後の取組み

地域組織や交通事業者等と協議を行い、下記事項を実施していく。

- 運行エリアの拡大
- 美幸町地区の岩槻駅への乗入（再実験） など